

可視化情報シンポジウム原稿テンプレート (和題:ゴシック 16pt,1行 27文字以内)*

—和文副題:ゴシック 14pt—

可視化 太郎[○](可視化情報大学), 情報 花子(可視化情報(株))

An Example of the Manuscript for the Visualization Symposium Japan (Times New Roman 16pt)

—Subtitle (Times New Roman 14pt)—

Taro KASHIKA and Hanako JOHO

ABSTRACT

This template is a guide to prepare manuscript for Visualization Symposium Japan. Here, please write the abstract serving as an index and as a summary of the present paper. It should be as long as approximately 150 words. *****

***** 《150 語程度の英文 ABSTRACT 及び 5 語以下の Keywords を記入してください。文字の大きさは 10pt, 字体は Century, 行間は 1 行分 (シングルスペース) です。》

Keywords: Visualization, Digital image processing, **<5 語以下>**, *****

1. 序論

本原稿は、可視化情報シンポジウムの原稿テンプレートです。原稿執筆にはこのテンプレートをご使用ください。原稿サイズは A4 版とし、ページ数は任意ですがファイルサイズは 5MB 以下としてください。ページ余白は、上 25mm, 左 20mm, 右 20mm, 下 20mm とし、ヘッダーおよびフッターは入れず、表題は 3 行目から始めてください。

2. 文字及び改行

2.1 文字の大きさと改行

使用言語は日本語または英語とします。和文原稿の場合、題目、著者名、所属を和文で書き、続けて題目、著者名の英文名を記入してください。英文原稿の場合、題目、著者名の英文名を記入してください。なお、和題・英題は講演申込時と同じであることが必要です (異なる場合、プログラムや講演論文集の目次には講演申込時の題目が使用されます)。

著者名は 11pt, 1 行に 36 字以内で右寄せとし、これを越える場合は改行してください。本文は 9pt の 2 段組みとし、片側 25 字×50 行、段間は 10mm を基準としてください。章間の行間は 2 行分 (ダブルスペース) とし、その中央に章名を 10pt で記し、節間は行を空けないようにしてください。

2.2 字体

題名、章・節名はゴシック体、本文は明朝体、英文題名、著者名は Times New Roman、本文中の英文は Century とします。参考文献¹⁾ は 8pt で表記ください。

3. 図表

本文中の図表の表記には、下記 Fig.1 と Table 1 のように、図表には通し番号をふり、図表番号はゴシック体、図表題は Century で書きます。キャプションは表の場合は上部に、図の場合は下部に記し、説明文は英文で表記してください。

3. 原稿提出

本テンプレートで作成した講演原稿 (PDF 形式) と、調査票 (PDF 形式, 必ず押印したものをお願いします) をシンポジウム HP の案内に従って提出して下さい。

Table 1 Sample of table

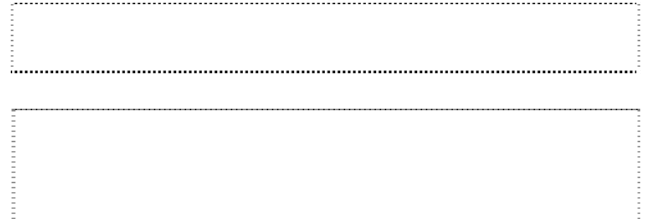


Fig. 1 Sample of figure arrangement

参考文献

- 1) 可視化太郎, 情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol. 100, No. 1000 (1998) pp. 11-12.
- 2) Kashika, T., Hanako, J.: An Example of the Manuscript for VSJ Journal, VSJ Journal, Vol. 10, No. 5 (1999) pp. 10-15.
- 3) Kashika, T.: Visualization Technique, VSJ Press, Tokyo (1997) pp. 1111-1125.